

令和5年度事業報告

| | 事業名 | 事業の概要 | 開催時期 | 場所 |
|---------------------|------------------------|---|-------|---------------|
| 非行・被害防止対策と有害環境対策の推進 | 青少年の非行・被害防止全国強調月間 | <p>国、地方公共団体、関係団体等が、それぞれの役割及び責任を果たしつつ、相互に協力しながら、地域が一体となった青少年の非行・被害の防止のための取組を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下一斉立入調査の実施(7/21) ・県庁舎での横断幕掲示(7/1～7/31) ・各市町村民会議への協力依頼のぼり、たすき等の貸し出し | 7月 | 全県 |
| | おおいた青少年安心ネット環境づくり会議の開催 | <p>青少年育成団体、事業者、行政機関等が協働して安全・安心なインターネット利用環境を整備するため、今後の取組等について協議した。</p> <p><出席者> 県民会議青少年育成部会メンバー、PTA連合会、学校関係者、民間事業者、県・警察関係機関等25名</p> <p><議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心なネット利用環境づくりに関する事業について ・青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に向けた取組について ・講座情報の確認 | 2月26日 | 新館14F 大会議室 |
| | 啓発資料等の作成・配布 | <p>○地域ぐるみの非行・被害防止の機運を醸成するため、ポケットティッシュ等の啓発資料を作成し、配布した。(4種類、19,500部)</p> <p>○社会的自立に困りを持つ子ども・若者やその家族の相談を受ける窓口を周知するため、ポケットティッシュ、チラシ等の啓発資料を作成し、配布した。(2種類、4,500部)</p> | 年間 | 全県 |
| | 家庭でのネット利用のルールづくり | <p>青少年のインターネット利用に関して、家庭の中でのルールづくりを促すため、啓発等を実施する。各家庭でのルールを募集し、広報誌を通じて紹介することで、広く機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分の青少年(NO.86-1)で「家庭のルール」募集 ・大分の青少年(NO.86-2)で「家庭のルール」を紹介(4例)、啓発実施 | 年間 | 全県 |

| | | | |
|---------|---|-------|---------------|
| | <p>青少年の非行・被害防止の取組を促進するため、県民会議会員団体を対象に講演会を開催した(県民会議総会終了後)。</p> <p>講師 特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネット理事長 矢野 茂生 氏</p> <p>演題 「生きづらさや困難を抱えるこども・若者を地域で支える」</p> | 6月20日 | 新館14F 大会議室 |
| | <p>青少年育成に関する体験活動や普及啓発活動などの、青少年団体の活動に係る事業費を補助した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象:会員団体及びその下部団体 ・上限5万円 ・助成実績:6団体、268,000円 | 年間 | 全県 |
| 体験活動の推進 | <p>中学生に意見発表の機会を提供し、社会参画への機運を醸成するとともに、全国大会に推薦する大分県代表を選考した。</p> <p>会 場:くすまちメルサンホール 応募数:1,487作品、23校 来場者数:約500人</p> <p>(最優秀賞) 玖珠町立くす星翔中学校 3年 平井 さくら 「好きなことにまっすぐに」</p> <p>(優 秀 賞) 竹田市立竹田中学校 3年 今口 花怜 「“当たり前”は“当たり前“？」</p> <p>別府市立北部中学校 3年 北口 愛 「その一粒に感謝を込めて」</p> <p>(特 別 賞) 大分県教育長賞 宇佐市立長洲中学校 3年 前田 葵衣 「言葉の力」</p> <p>共 感 賞 臼杵市立南中学校 3年 佐藤 有咲 「Be myself」</p> | 8月31日 | 玖珠町 |
| | <p>第45回少年の主張大分県大会(国立青少年教育振興機構から委託)</p> | | |

| | | | | |
|--------------|---------------------|---|--------|-------|
| | 中学生・高校生地域リーダー育成研修事業 | <p>県内中学生・高校生を対象に、社会参画促進に向け、課題解決力やコミュニケーション力など、地域のリーダーとして活動するために必要なスキルの習得を目的にした研修を実施した。</p> <p>開催地:豊後高田市「昭和の町」 テーマ:昭和、平成、令和と活性化を続ける「昭和の町」の魅力探求～まちづくりに関わる人々のマインドを見つけよう 参加者数:県内中学生・高校生 34名 (中学校7校、高等学校8校)</p> | 1月21日 | 豊後高田市 |
| | 大人が変われば子どもも変わる県民運動 | <p>○県民総ぐるみあいさつ運動 7月21日 県下一斉あいさつ運動 ～JR大分駅府内中央口 11月1日 おおいた教育の日推進大会会場 入口でのあいさつ運動 ～九重町九重文化センター 11月14日 県下一斉あいさつ運動 ～ガレリア竹町ドーム広場 JR大分駅府内中央口</p> | 年間 | 全県 |
| | 秋のこどもまんなか月間 | <p>こども・子育てにやさしい社会づくりの推進に向け、社会全体でこどもや子育て中の方々を支える機運を醸成するため、県内市町村で街頭指導・啓発活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下一斉あいさつ運動(11/14) ・県庁舎での横断幕掲示(11/1～11/30) ・各市町村民会議への協力依頼のぼり、たすき等の貸し出し | 11月 | 全県 |
| 普及啓発と県民運動の推進 | 自死遺児救済援護事業 | <p>自殺により親を失った子ども(自死遺児)の入学・卒業・修学旅行等に対し給付金の支給を行った。</p> <p>給付実績:20家族、27名</p> | 年間 | 全県 |
| | 大分県青少年健全育成大会 | <p>青少年育成県民運動の一層の高揚を図るため、功労者の表彰を行うとともに、青少年の意見発表等により、家庭・学校・地域・社会が連携して青少年の育成環境の整備に取り組む機運醸成を図った。</p> <p>場所:トキハ会館ローズの間 内容:青少年育成県民会議会長表彰 青少年団体の部(1)、保護育成者の部(5) 講演「ネット社会を生きる子どもたち～サイバー犯罪の現状と対策～」 (講師)県警生活安全部サイバー犯罪対策課 係長 村井 裕一 氏 意見発表 等</p> | 11月10日 | 大分市 |

| | | | |
|------------------------|--|-----------|-----------|
| <p>県民会議等の活動 広報</p> | <p>○広報誌「大分の青少年」の発行 <ul style="list-style-type: none"> ・NO.86-1 発行時期10月、3,000部 ・NO.86-2 発行時期 3月、2,600部 ○県庁HPやSNSによる情報発信 …随時</p> | <p>年間</p> | <p>全県</p> |
| <p>その他</p> | <p>○内閣府や青少年育成都道府県民会議との連携 青少年育成九州地区会議(宮崎)～10月、書面開催</p> <p>○大分県青少年育成県民会議 <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会(5月31日、10月5日) ・総 会(6月20日) </p> | <p>年間</p> | <p>全県</p> |